

札学保

No. 159

2023. 7. 21

事務局 〒 004-0864 札幌市清田区北野 4 条 5 丁目 4-80
札幌市立北野台小学校
TEL (011) 882-5281 FAX (011) 882-2792
学校保健会HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~satsugakuho/>



研究 4 年目「実践を広める」から、 全道大会・指定都市学校保健協議会へつなぐ

札幌市学校保健会 会長 多米 淳



新型コロナウイルス感染症の位置付けが、令和 5 年 5 月 8 日から「5 類感染症」となりました。このことにより「マスクの着用は自己判断」に変わり、私たちの日常生活が以前の形に戻りつつあることが感じられます。そして、感染者数の集約の方法が変更され、感染者数を知る機会が減ってくると、徐々に意識が薄まりつつあるのではないのでしょうか。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではなく、引き続きの対策が必要です。健康的な生活を送る上で、手洗いや換気、密集を避けるということは、これからも大切にされるべきと考えます。

さて、学校でも「5 類移行」に伴って生活に変化が見られています。まず、マスクに関しては「学校生活において着用しなくても良い」となっています。徐々にマスクを外して学校生活を送る児童が増えてきました。しかし、これまでのコロナ禍を経験した児童の中には、「自分の顔を見られるのが恥ずかしい」や「これまで隠してきたので、出すことに抵抗感がある」と、なかなかマスクを外さない

児童も見られます。これからの時期は熱中症対策の観点からも、状況に応じて「マスクを外す」声掛けが必要と思われる。次に給食時間も変わってきました。対策の観点からの「黙食」が解除され、給食時には友達と会話する姿が見られたり、机の向きや並びを変えたりする様子が見られています。小学校 5 年以上の児童は、以前のような友達と会話しながらの楽しい給食を経験していますが、小学校 4 年生以下の児童は、入学した時から「黙食」が当たり前でしたので、大きな変化だったと思われる。楽しい給食が広がることは、食育の面からも望ましいことだと考えています。

そのような中、児童生徒の健康の保持増進にご尽力されております学校保健関係者の皆様方に敬意を表しますと共に、札幌市学校保健会の研究・研修活動を始めたとした諸事業の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

札幌市学校保健会は、変化の大きな現代社会において児童生徒の「自ら健康に生きる能力」を育て、自身が心身ともに健康で豊かな生活を送ることができることを基盤としております。所属 14 団体の組織と特性を生かし協働しながら諸事業に取り組むことで、児童生徒に対する健康教育の推進と学校保健活動の充実を図っております。知・徳・体のバランスの良い育ちを目指す健康教育の推進には、児童生徒一人一人の健康問題に即した適切な保健管理が重要であり、学校、家庭、学校医、地域が連携し、それぞれの役割を果たすことが引き続き重要です。

『児童生徒自らが健康を創りだす実践力の育成を志向する学校保健』をテーマとした 5 か年研究が進められてきております。研究 4 部会では「不登校」を共通の切り口としています。昨年度の研究大会では、これまで各部会で取り組んできた成果が発表されました。今年の研究は、「(4 年目) 実践を広める年」となります。役員、理事、評議員、事務局員の総力を挙げて取り組みたいと思います。次年度(令和 6 年度)は、5 か年研究の最終年であり、本会創立 50 周年の大きな節目となります。7 月 28 日(日)には指定都市学校保健協議会が札幌市で開催されます。課題別協議会は、本会の 4 部会と同じ枠組みで行われます。その一つに札幌市も提言発表が割り当たります。参加される皆様がこれまで部会で取り組んできたことについて、全国の場で協議することになり大きな学びがあると思います。また「ある学校の発表ではなく、札幌市学校保健会の研究とつながった発表」と思っていただけだと思います。次年度に向けて、内容を深化させていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

広い視野からの情報収集や所属 14 団体での交流を深めながら、学校、家庭、学校医、地域に還流する方策をこれまで以上に探り、積み重ねてきた知恵と知識を基礎として、更なる実践・啓発に努力いたします。今年度も、札幌市学校保健会の諸事業の推進をご理解いただき、積極的にご参加ご協力いただくことを、心からお願い申し上げます。

札幌市学校保健会について紹介します！

～「児童生徒自らが健康を創りだす実践力の育成」を志向する学校保健～

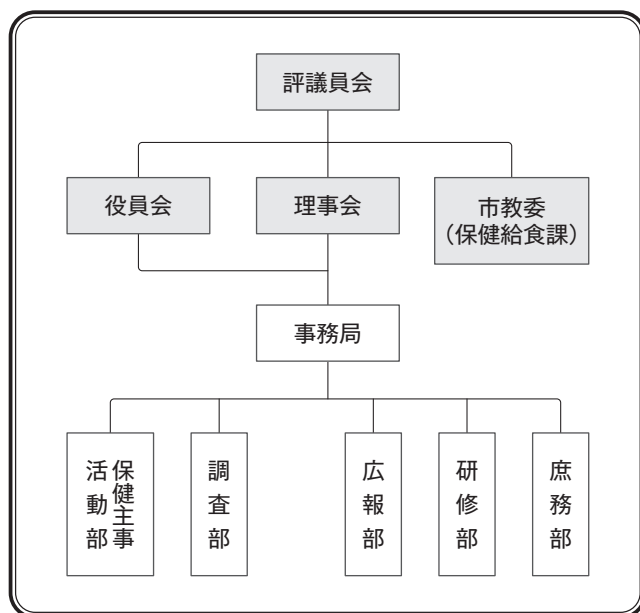
☆目的 札幌市における学校保健に関係する団体が相互の連携を緊密にしながら、学校保健の向上発展に寄与することを目的とする。

☆事業 1) 学校保健普及振興に関わる事業 2) 学校保健の研修に関わる事業
3) 学校保健に関する調査、研究と交流事業 4) その他、学校保健に関する事業

☆運営方針

- 1) 学校保健の今日的な課題を明確にし、研究・研修活動及び調査・広報活動を積極的に行いながら学校保健事業の充実を図る。
- 2) 学校保健会所属団体の連携を密に深めながら、本市学校保健に寄与する。

☆組織図



〈加盟所属団体〉

- ◇札幌市医師会 札幌市学校医協議会
 - ・内科学校医
 - ・耳鼻咽喉科学校医
 - ・眼科学校医
- ◇札幌歯科医師会
- ◇札幌学校薬剤師会
- ◇札幌市 PTA 協議会
- ◇札幌市立幼稚園長会
- ◇札幌市小学校長会
- ◇札幌市中学校長会
- ◇札幌市立高等学校・特別支援学校長会
- ◇札幌市小学校教頭会
- ◇札幌市中学校教頭会
- ◇札幌市養護教員会
- ◇札幌市立高等学校・特別支援学校養護教諭連絡協議会
- ◇札幌市学校給食栄養士会
- ◇その他学校保健関係団体

各団体からの理事と評議員で構成されています。



○役員・理事・評議員などの関係者・事務局員の**全員**が、それぞれの部会に分かれて所属します。お互いの立場からの話題で、交流・研修を深めています。

四部に分かれた研究活動

健康教育

心の健康

保健管理

地域保健



札幌市学校保健会
キャラクター
「サガホ」くん

今年度の業務日程

- 4月 第1回理事会・評議員会【札幌市医師会館 オンライン】
- 6月 第74回指定都市学校保健協議会〈福岡市〉に参加
札幌市学校保健会研修会
- 7月 札幌保 159号の発行（札幌市立の幼・小・中・高と各所属団体へ配付）
- 9月 第2回理事会【札幌市医師会館会同 予定】
- 11月 第73回全国学校保健・安全研究大会〈兵庫県・神戸市〉に参加
第70回北海道学校保健研究大会〈札幌市〉の運営
- 12月 札幌市学校保健会研究大会
札幌保 160号の発行（札幌市立の幼・小・中・高と各所属団体へ配付）
- 1月 第3回理事会【札幌市医師会館会同 予定】
- 3月 札幌保 161号の発行（札幌市立の幼・小・中・高と各所属団体へ配付）

年間予定より一部抜粋

第74回 指定都市学校保健協議会(福岡大会) 「たくましくしなやかに生きる 子どもたちを育む学校保健の推進」

札幌市立北白石中学校 校長 石井 貴司



令和5年6月11日、第74回指定都市学校保健協議会が福岡市福岡国際会議場をメイン会場として、オンラインで開催された。開会式では、福岡市長、福岡市学校保健会会長、福岡市教育長からの挨拶、日本学校保健会会長より祝辞があった。全体協議会では、昨年度の熊本大会の報告と事後処理、今年度の福岡大会運営方法、令和6年度の札幌大会決定と挨拶があった。

【記念講演】

「たくましく生きる力」

三井住友海上所属 東京パラリンピック

金メダリスト 道下 美里 氏

◆笑顔、バイタリティ(活力・生命力)の原動力

2004年に盲学校在学中に陸上競技を始め、福岡市でそれぞれの目的や体力に合わせて、視覚障がい者と晴眼者がマンツーマンでジョギングやウォーキングを楽しみながら活動している大濠公園ブラインドランナーズクラブ(OBRC)との出会いにより、走ることの楽しさを再確認し現在尚、走り続けている。

困難は人にとって捉え方が違うので、周りにいる多くの人の意見を聞くようにしている。その中から自分が納得する答えに出会うことがある。

「思ったことを周りに伝えること」「つねに笑顔でいること」

「前向きになることばを掛けてくれる仲間を大切にすること」を大事にして生きてきた。「チーム道下」もそうした中から出来上がった。

◆子どもたちに伝えたいメッセージ

自分の辛いことを伝えることによって、すぐ隣に助けてくれる人が必ずいる。自分のことを伝える勇気をもってほしい。また、希望を捨てない、腐らない、前向きになるためのことばを持つこと。ピンチの時にはチャンスを与える人が必ずいる。そして、チャンスをもろう時には、前に進むだけを考えて挑戦してほしいと語った。

午後からは、4つの課題別分科会が行われ、私は第1分科会(健康教育)に参加したので、報告いたします。

課題別協議会 提言1

「Well-beingを目指す

「意志」をもつ子を育てる健康教育」

札幌市立緑丘小学校 主幹教諭 丸山 悠 氏



札幌市学校栄養士会や学校独自の調査を基に実態を把握し、「睡眠」「朝食」「運動」にしまり、子どもたちが自分の生活を良くしようとする『意

志』をもつことをねらいとした実践研究を進めた。栄養士・養護教諭・地域の小児科医と連携を図り動画や資料を教材化し、授業で活用することによって大きな成果があった。

課題別協議会 提言2

「耳鼻咽喉科健康診断の現状について」

相模原市医師会学校耳鼻科医部会 学校医 正来 隆 氏

令和3年度に日本耳鼻咽喉科学会学校保健委員会が実施した、小中学生を対象とした耳鼻咽喉科定期健康診断全国定点調査の分析から、耳鼻咽喉科定期診断の現状についての発表である。小・中学生で所見ありと診断された疾患に大きな差はなかったが、小学校の早い段階から継続して健康診断を実施することは大切である。

課題別協議会 提言3

「卓上シミュレーション研修キットの開発とその効果」

～校内救急体制確立をめざした教職員研修の実践から～

岡山市立富山中学校 養護教諭 勝田 明末 氏

岡山市養護部会では、平成30年度から学校安全の校内研修の充実に向けた共同研究を推進してきた。グループ協議による意見交換が活発に行える卓上研修と、実際に動くことで事故が起きたときの役割分担や連携が体験できるシミュレーション研修を開発した。教職員には様々な緊急時の対応能力が身に付き成果があった。

課題別協議会 提言4

「生徒とともに心臓蘇生教育の推進」

～PUSHコースを活用して～

広島市立広島工業高等学校 教諭 墨田 由佳 氏

平成31年度から、教職員対象の心肺蘇生等の応急手当に係る研修を実施している。令和3年から、生徒会保健委員会を中心とした生徒による生徒向けの勉強会を実施している。教職員のみならず生徒も一緒に「救える命を救う」という意識につながる取組を推進している。

課題別協議会 提言5

「学校健診から始まる小児生活習慣病検診を機会に

自分と家族全体のヘルスリテラシーをたかめよう」

福岡市医師会小児生活習慣病対策部会 青木真智子 氏

平成27年度から、福岡市医師会で学校心臓検診の一環として小児生活習慣病検診を開始した。福岡市立学校小学4年生を対象に毎年実施しており、30%以上の中～高度肥満と25%以上のやせの児童に関しては、二次病院への受診を推奨し、診断・介入に繋げている。自宅での生活習慣の改善に繋がった可能性もあり効果があった。

令和5年度 札幌市学校保健会 研修会 「学校における薬品管理マニュアル改訂について」報告

札幌市立資生館小学校 養護教諭 堤 沙季

6月14日（水）、札幌医師会館を会場に、令和5年度札幌市学校保健会研修会を会同にて開催した。会場には校長、教頭、教諭、養護教諭などの教職員、学校保健会関係者など合わせて約70名が集まった。

研修会は、札幌学校薬剤師会 副会長の中山章氏による「学校における薬品管理マニュアル令和4年度改訂について」と題した講演と、札幌学校薬剤師会の薬剤師による環境実技研修会の二本立てで行われた。

講演で中山氏は、学校で一般用医薬品を取り扱う上で押さえておきたいポイントとして、原則として学校は一般



用医薬品を提供する場ではないこと、あくまで救急用として保健室等に常備する場合は可能な限り安全性の高い第三類医薬品を選ぶなど医薬品のリスク区分に注目すること、管理の責任者は校長であり対応については教職員間で共通認識を持つこと、などを挙げていた。また、一般用医薬品を購入する際の注意として、使用期限の長いものを必要最低限の量購入することや、個別包装されていない医薬品は開封後の品質や効き目に変化しやすいため、できるだけ小包装・個別包装になっているものを選ぶことが望ましいとのことだった。

会場では、実際に医薬品名を示しながら、学校で管理・使用するにあたり注意すべきものと比較的安全性に使用できるものを含有成分等と照らし合わせて解説した。内服薬・外用薬（塗布薬・湿布薬など）の中には副作用を生ずるものもあるため、必ずアレルギーの有無を確認したり、保護者と連絡を取ったうえで使用したりするなどの配慮が必要であると、注意を促した。

他にも医薬品の適切な保管方法や廃棄方法などについても触れた。

講演の後には、運営から「こんなときどうする？ Q&A」と題して、学校現場で実際にプールの管理

や水質検査などを行っている中での疑問について中山氏に質問した。たとえば、「水泳学習中、水中で嘔吐があった場合の対応は？」という問いに対しては、「固形物を取り除き、新しい水を入れて表面の浮遊物を流せば、あとは水がろ過機を通過して循環していくので、再検査はせずとも次の時間に別の学年が使用しても水質的には問題はない。ただし、気分的な面での配慮も必要なので、その日は中止という判断が妥当だろう。」とのことだった。

他にも、プールの塩素濃度は気温の高い日は飛びやすいので基準値を下回らないよう管理することの重要性や、水質検査に関わって朝水道の蛇口をあけて放水する時間は大体5分ほどあれば十分な量の水が入れ替わることなど、実用性の高いお話をいくつかいただいた。

その後、会場にて3か所に分かれて、薬剤師による環境実技研修が行われた。水質・気温・湿度・騒音・粉塵・照度・ダニなど、実際にその場で器具を用いて測定・検査のコツやポイントを確認しながら実演していった。参会者からは、日ごろ検査をしている中での疑問などを講師の薬剤師と確認する姿が見られた。

また、最後の閉会の挨拶では、札幌市学校保健会 副会長を務める薬剤師の宮下 元樹氏より、現代社会における健康教育の重要性についてもお話いただき、ぜひ学校薬剤師と連携した授業なども推進してほしいとのことだった。

薬品管理や環境衛生検査は、取り扱いを誤ったり、必要な検査を怠ったりすることで、児童生徒に重大な健康被害をもたらす可能性がある極めて重要なものである。学校薬剤師という心強い味方が学校の環境衛生・児童生徒の健康を支えてくださっていることを再認識し、今後はより積極的に連携していきたいと感じた。



専門の立場から

札幌学校薬剤師会の活動について

札幌学校薬剤師会 常務理事
中村 次也

札幌学校薬剤師会は昭和33年4月に学校保健法が制定されることに伴い、その前年に設立され今年で66周年を迎えている。

当会は札幌・江別・千歳保健所を管内として札幌市を中心に現在、およそ300名の会員で組織されている。また札幌市においては、概ね学校薬剤師一人に対して一校を担当している。

主たる活動としては年度初めとその半年後の年2回、受水槽等を含めた給水設備の施設点検を行っている。これは受水槽内部や配管等に問題がないかをチェックし、異常があれば直ちに口頭及び書面にて学校側に指導助言を行っている。

夏季(6～9月)には学校プールの水質検査を行っている。対象校は主に小学校(昨年は小学校187校)で、シーズン中に3回を目処に担当学校薬剤師が学校に出向き、直接採水をして水質検査を行っている。

また例年11月頃、全校を対象として飲料水水質検査を実施している。

冬期間では教室の窓を閉めきることが予想されるため、二酸化炭素濃度の上昇が懸念される。よって学校の要望により教室内の二酸化炭素濃度測定を含め、年を通じて照度及び照明環境、騒音環境及び騒音レベル等の検査も実施している。

学校薬剤師の職務の多くは、学校環境衛生検査であるが健康教育についても重要な活動として取り組みを行っている。「危険ドラッグ」「薬物乱用防止教育」「薬の正しい使い方」「タバコの害」等、また衛生教育として「手洗い指導」など授業枠を活用させていただき、啓発活動を積極的に行っている。

今後も札幌市学校保健会と密に連携を取りながら、時代の要素を柔軟に受け入れ、学校薬剤師の職能を通じて学校保健の一層の充実、発展に貢献していきたい。



地域や社会へつながる子どもたち

開成中等教育学校
塩谷 佳子

開成は中学・高校の6年間を育む学校で、思春期から大人へと成長する過程をみることができる。今までずっと中学校勤務だったので、この春異動してきて毎日がとても新鮮だ。無邪気に鬼ごっこしている生徒たちがいれば、ボランティア活動の打ち合わせで企業に電話している生徒もいる。学年の垣根を超えた交流を大切にしている。「上級生が下級生の相談にのる」というピアサポートや、職員室前のホワイトボードには1つのテーマに全校生徒が自分の考えを自由に書き込んで交流するという学びもある。学校祭の企画では、6年生がたくさんの活発な意見を出し、臨時生徒総会が開かれた。自分たちの学校祭を自分たちで作ろうとする熱い思いや行動力、あふれるパワーに、よりよい未来や社会へつながる力を感じた。新入生同様、私も「高校生になるとこんなことができるんだ」と主体的に行動する上級生に感心しきりである。

保健室で聴く生徒の悩みや不安は、高校生も、友達との関係や進路、課題、部活などで、中学生と同じなんだと感じた。ただ、少し大人な分だけ、自分の言葉で表現できるようだ。中学生では、「頭が痛くて」と来室しているいろいろ話をするうちに、ストレスから体調を崩しているのかなと気づくことも多かった。高校生になると、自分なりのものの見方や他人との違いを自覚できるようだ。「こんなことがつらくて」「こんな心情で」と説明してくれる。どうしたらいいかを一緒に整理していくサポートをしている。

養護教諭の複数配置というのも初めて経験しているがとても心強い。一人だと気づかないことも見えてきて、相談しながら対応できるありがたさを日々感じている。

学校祭準備が始まり、欠席が多い生徒も学校に足が向き始めている。きっと保健室にいるときは違う表情が見られるはずだ。どんな活躍が待っているか、とても楽しみだ。



編集後記

今回の紙面報告にもあります、研修会ですが、大変多くの方々にご参加いただきありがとうございました。また、本号発刊にあたり、お忙しい中ご寄稿いただいた先生方、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

〈広報部：中塚・堂前〉

令和5年度

札幌市学校保健会名簿

役職	役員名	所	属
会長	多米 淳	医師会 (中)大通西19丁目札幌市医師会館	TEL611-4181
副会長	岡村 暁子	医師会 (中)大通西19丁目札幌市医師会館	TEL611-4181
副会長	高橋 修史	歯科医師会 (中)南7条西10丁目札幌歯科医師会館	TEL511-1543
副会長	宮下 元樹	学校薬剤師会 (豊)平岸1条8丁目北海道薬事会館	TEL811-0184
副会長	中村 義則	小学校長会 (北)太平南小学校	TEL772-0641
副会長	乙坂 誉日	中学校長会 (清)北野中学校	TEL882-0754
副会長	小山 学	高等学校・特別支援学校長会 (北)豊明高等支援学校	TEL774-2222
監事	中村 次也	学校薬剤師会 (豊)平岸1条8丁目 薬剤師会公衆衛生センター	TEL824-1348
監事	先名 孝亘	PTA協議会 (西)札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ) 明園小学校	TEL671-2371

所 属	理 事	評 議 員
学校医協議会 内科学校医	境野 環樹 (手)さかいの小児科 TEL691-9131	古田 博文 (西)ふるた小児科クリニック TEL671-1188
学校医協議会 耳鼻咽喉科学校医	佐野 宏行 (北)佐野耳鼻咽喉科 TEL763-3387 新谷 朋子 (中)とも耳鼻科クリニック TEL616-2000	松島 純一 (豊)まつしま耳鼻咽喉科 TEL816-3387 唐崎 玲子 (清)アリス耳鼻咽喉科 TEL886-8733
学校医協議会 眼科学校医	上野 哲治 (西)小原眼科医院 TEL631-5581 天野 珠美 (南)川沿眼科 TEL572-5131	豊田 千富 (豊)とよだ眼科 TEL820-7888 中田 勝義 (清)北野通り眼科 TEL884-7180
歯科医師会	佐藤 友昭 (北)さとう歯科クリニック TEL761-1213	塚本 晃也 (手)塚本歯科医院 TEL685-4701
学校薬剤師会	田中 稔泰 (豊)薬剤師会公衆衛生センター TEL824-1348 中山 章 (石)北海道医療大学薬学部 TEL0133-23-1211	高村 茂生 (石)北海道医療大学薬学部 TEL0133-23-1211 手塚 崇博 (豊)薬剤師会公衆衛生センター TEL824-1348
PTA協議会	深谷 正史 (北)篠路西中学校 TEL773-1400 湯浅 雅之 (厚)厚別北中学校 TEL895-7461	高原 周作 (豊)西岡北小学校 TEL855-5456 長崎 教尚 (清)清田中学校 TEL881-2034
幼稚園・こども園長会	渡邊江吏子 (南)もいわ幼稚園 TEL852-1230	(渡邊江吏子) (南)もいわ幼稚園 TEL852-1230
小学校長会	久保 幸範 (東)札幌北小学校 TEL791-3831 高橋 直之 (北)光陽小学校 TEL761-2521	小菅 猛雄 (手)前田中央小学校 TEL681-4811 千葉 剛禎 (北)篠路小学校 TEL771-2221
中学校長会	下山 敏晴 (西)発寒中学校 TEL661-0412	小林 大介 (豊)羊丘中学校 TEL882-0754
高等学校・特別支援学校長会	宗石健太郎 (西)山の手支援学校 TEL611-7934	益満 等之 (南)豊成支援学校 TEL851-9352
小学校教頭会	高梨 康人 (手)新陵東小学校 TEL684-5561	真鍋 一史 (東)栄西小学校 TEL751-1852
中学校教頭会	平井 歩 (豊)八条中学校 TEL831-6145	小野 健 (白)東白石中学校 TEL864-0984
養護教員会	山本奈保子 (西)手稲東中学校 TEL661-3363 伊勢真由美 (北)拓北小学校 TEL772-7035	田中 朋美 (手)手稲山口小学校 TEL682-8167
高等学校・特別支援学校 養護教諭連絡協議会	今井 幸 (東)開成中等教育学校 TEL788-6987	塩谷 佳子 (東)開成中等教育学校 TEL788-6987
学校給食栄養士会	運上 央子 (中)三角山小学校 TEL643-1133 山平 惇実 (豊)南月寒小学校 TEL853-9314	松宮 路子 (東)札幌北小学校 TEL781-2731
保健主事連絡協議会		

<p>札幌市教育委員会 (中)北2西2 STV北2条ビル5階 保健給食課保健係 <u>TEL 211-3841</u> <u>Fax 211-3834</u></p> <p>教育次長 竹村 真一 学校施設担当部長 池田 秀利 保健給食課長 近藤 光雄 保健係長 道 貴之 保健指導担当係長 山角亜沙美 保健係 岩城 秋子 保健係 伊藤 隆彦</p>	<p>札幌市学校保健会事務局 札幌市立北野台小学校 〒004-0864 (清)北野4条5丁目4-80 Tel 882-5281 Fax 882-2792</p> <p>参 与</p> <p>事務局長 堀江 仁 北野台小 TEL882-5281 次 長 大宮 健一 幌南小 TEL521-0214 次 長 佐々木豊文 稲陵中 TEL683-3451 庶務部長 三浦 直樹 真栄小 TEL882-7925 研修部長 丸山 悠 緑丘小 TEL561-5118 広報部長 中塚 宗太 白楊小 TEL726-4158 調査部長 中山 明朗 新琴似南小 TEL762-3274 保健主事連携部 全事務局員</p> <p>次 長 石井 貴司 北白石中 TEL871-2948 次 長 渡辺 一生 資生館小 TEL204-9811 部 員 吉田 未来 和光小 TEL736-7351 部 員 嘉津 栞 幌北小 TEL726-2461 部 員 堤 沙季 資生館小 TEL204-9811 部 員 堂前 友里 前田小 TEL683-3749 部 員 新谷 侑希 屯田小 TEL771-3151 部 員 石川 瞳 北野小 TEL881-8521 部 員 廣瀬もとき 藤野南小 TEL592-2120</p>
---	--